

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（1998年7月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・EU加盟諸国の信用度の高い公社債に投資を行います。 ・ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。 	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンドへの投資は、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎年1, 3, 5, 7, 9, 11月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ユーロ・ソブリン・オープン



第113期（決算日：2017年7月5日）
 第114期（決算日：2017年9月5日）
 第115期（決算日：2017年11月6日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ユーロ・ソブリン・オープン」は、去る11月6日に第115期の決算を行いましたので、法令に基づいて第113期～第115期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近15期の運用実績

決算期	基準価額			シティ欧州世界国債インデックス (円ベース)		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配	み金騰落	期中騰落	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
101期(2015年7月6日)	7,500	50	△1.7	650.83	△0.6	97.1	—	2,096
102期(2015年9月7日)	7,398	50	△0.7	642.79	△1.2	96.5	—	2,032
103期(2015年11月5日)	7,370	50	0.3	648.93	1.0	96.3	—	2,017
104期(2016年1月5日)	7,136	50	△2.5	631.48	△2.7	97.4	—	1,908
105期(2016年3月7日)	6,979	50	△1.5	621.70	△1.5	96.8	—	1,860
106期(2016年5月6日)	6,797	50	△1.9	609.72	△1.9	97.4	—	1,808
107期(2016年7月5日)	6,402	50	△5.1	584.22	△4.2	97.1	—	1,686
108期(2016年9月5日)	6,495	50	2.2	597.34	2.2	96.9	—	1,708
109期(2016年11月7日)	6,224	50	△3.4	571.88	△4.3	96.7	—	1,610
110期(2017年1月5日)	6,491	50	5.1	607.19	6.2	97.0	—	1,664
111期(2017年3月6日)	6,314	50	△2.0	594.55	△2.1	96.4	—	1,612
112期(2017年5月8日)	6,448	50	2.9	612.50	3.0	97.4	—	1,631
113期(2017年7月5日)	6,570	50	2.7	631.96	3.2	97.6	—	1,619
114期(2017年9月5日)	6,669	50	2.3	645.17	2.1	97.6	—	1,630
115期(2017年11月6日)	6,734	50	1.7	661.53	2.5	96.9	—	1,611

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) シティ欧州世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする欧州主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		シティ欧州 インデックス	世界国債 (円ベース)	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第113期	(期 首) 2017年5月8日	円 6,448	% —	612.50	% —	% 97.4	% —
	5月末	6,493	0.7	616.27	0.6	97.5	—
	6月末	6,614	2.6	633.41	3.4	96.9	—
	(期 末) 2017年7月5日	6,620	2.7	631.96	3.2	97.6	—
第114期	(期 首) 2017年7月5日	6,570	—	631.96	—	97.6	—
	7月末	6,626	0.9	640.43	1.3	97.5	—
	8月末	6,772	3.1	649.36	2.8	96.9	—
	(期 末) 2017年9月5日	6,719	2.3	645.17	2.1	97.6	—
第115期	(期 首) 2017年9月5日	6,669	—	645.17	—	97.6	—
	9月末	6,736	1.0	655.49	1.6	97.5	—
	10月末	6,730	0.9	655.75	1.6	97.2	—
	(期 末) 2017年11月6日	6,784	1.7	661.53	2.5	96.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

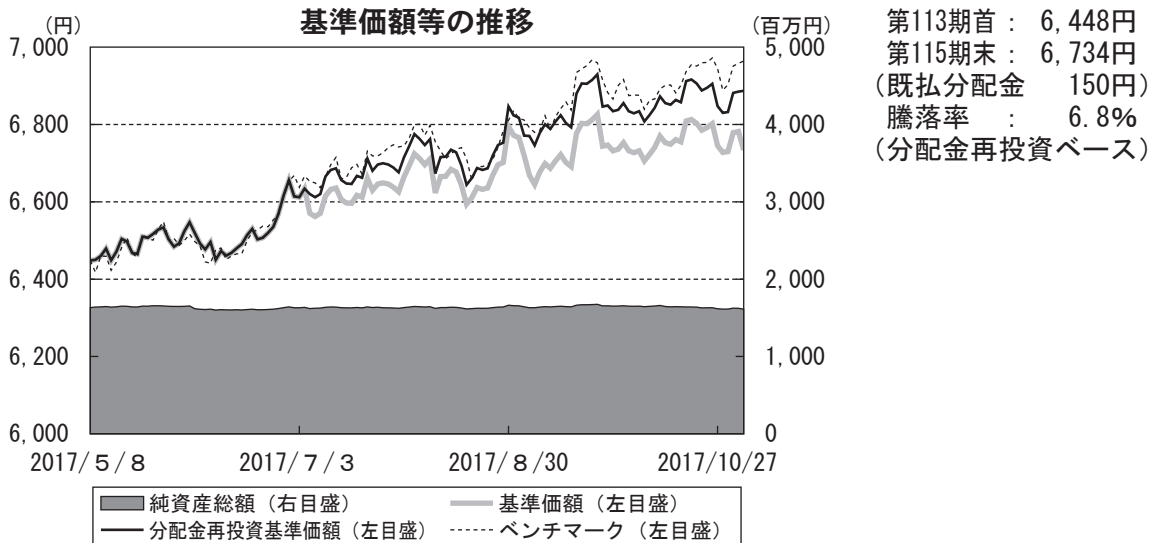
(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第113期～第115期：2017/5/9～2017/11/6)

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ6.8% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率 (8.0%) を1.2%下回りました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	ユーロや英ポンドが対円で上昇したことやドイツなどの債券の利回りが低下したこと、債券の利息収入などが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	イギリスなどの債券の利回りが上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第113期～第115期：2017/5/9～2017/11/6)

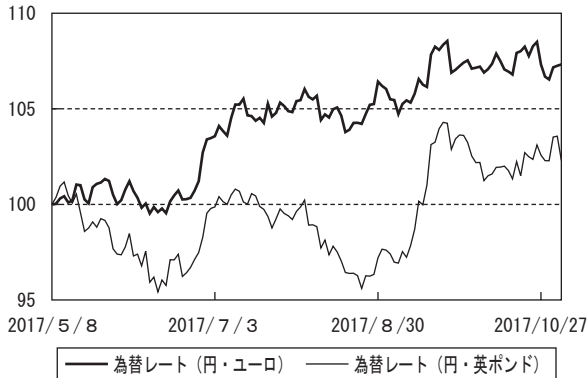


(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎欧州債券市況

- ・ドイツ10年国債利回りは、北朝鮮情勢への懸念が一時高まったことや2017年10月に開催された欧州中央銀行（ECB）理事会にて、2018年1月からの資産購入のペース縮小が決定されたものの、現行の超低金利政策を2019年の相当期間まで維持する内容が示唆されたことなどを受け、利回りは低下しました。
- ・イギリス10年国債利回りは、インフレ率の高まりなどを受け、イギリス中央銀行（BOE）による利上げ観測の高まりなどから、利回りは上昇しました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・ユーロは、世界的な景気回復期待や欧州の政治的な安定への期待などを背景に、円に対して上昇しました。
- ・英ポンドは、欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感などから一時下落したものの、世界的な景気回復期待やBOEによる利上げ観測の高まりなどから、円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ユーロ・ソブリン・オープン>

- ・ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

<ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ7.4%の上昇となりました。

- ・EU加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

◎国別資産配分

- ・ポーランドは、中央銀行が金融緩和姿勢を継続しているものの、底堅い景気回復や上昇基調にあるインフレ率などを背景に、当作成期末時点ではベンチマークに対してオーバーウエイトとしました。
- ・イギリスは、EU離脱を巡る不透明感が今後高まってくることが見込まれることなどから、当作成期末時点ではベンチマークに対してアンダーウエイトとしました。

◎デュレーション（金利感応度）

- ・ユーロ圏の景気は堅調に推移しているものの、ECBによる金融緩和政策の継続が見込まれることから、デュレーションはベンチマークに対して小幅に長めとしています。

※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

◎為替取引

- ・作成期の初めは、2.1%程度のスウェーデンクローネ買い、1.1%程度の英ポンド売り、1.1%程度のポーランドズロチ売りとしました。
作成期末は、景気が底堅く推移していることなどから6.9%程度のユーロ及び0.6%程度のスウェーデンクローネ買い、EU離脱を巡る不透明感などから5.0%程度の英ポンド売り、ベンチマークに対するオーバーウエイト幅の調整のために2.5%程度のポーランドズロチ売りとしました。

◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。
- ・前記の運用を行った結果、保有しているイギリスなどの長期の債券の利回りが上昇したことなどがマイナスに作用した一方、ユーロや英ポンドが円に対して上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

(ご参考)

ポートフォリオの状況

作成期首 (2017年5月8日)

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.56%	—
平均直利	2.57%	—
デュレーション	7.7	8.0

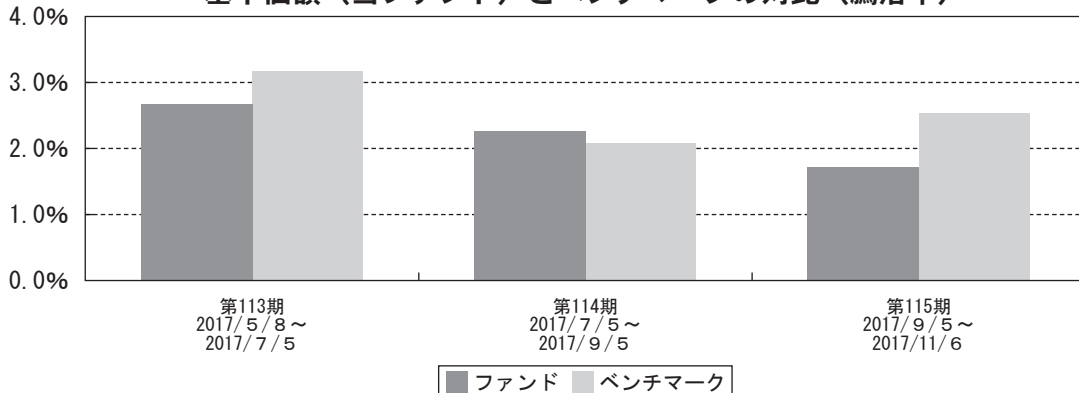
作成期末 (2017年11月6日)

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.65%	—
平均直利	2.22%	—
デュレーション	8.3	8.1

- ・平均終利 (複利最終利回り) とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り (年率) をいいます。
- ・平均直利 (直接利回り) とは、利子収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する利子の割合 (年率) をいいます。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第113期～第115期: 2017/5/9～2017/11/6)

基準価額 (当ファンド) とベンチマークの対比 (騰落率)



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

<ユーロ・ソブリン・オープン>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、6.8% (分配金再投資ベース) の上昇となり、ベンチマークの騰落率 (8.0%) を1.2%下回りました。

<ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、7.4%の上昇となり、ベンチマークの騰落率 (8.0%) を0.6%下回りました。
- ・英ポンドをベンチマークに対して少なめとしていたことなどがプラスに寄与した一方、スウェーデンクローネが下落する局面でベンチマークに対して多めとしていたことなどがマイナスに作用した結果、ベンチマークに対してアンダーパフォーマンスしました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第113期	第114期	第115期
	2017年5月9日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年9月5日	2017年9月6日～ 2017年11月6日
当期分配金	50	50	50
(対基準価額比率)	0.755%	0.744%	0.737%
当期の収益	24	24	24
当期の収益以外	25	25	25
翌期繰越分配対象額	1,101	1,076	1,051

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ユーロ・ソブリン・オープン>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率をおおむね99%以上に保つ方針です。

<ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・ユーロ圏では、ECBによる金融緩和の継続が見込まれるものの、景気が底堅く推移していることやイタリアなど欧州を巡る不透明感が後退していることなどから、ユーロは円を含む主要国通貨に対して、底堅く推移するとみています。
- ・イギリスでは、高水準のインフレ率などを背景に政策金利の引き上げが実施されたものの、緩慢な景気回復などを背景に金融引き締めは緩やかなペースになることが見込まれることに加え、EU離脱を巡る不透明感などから、英ポンドは円を除く主要国通貨に対して、弱含む展開になると予想しています。

◎今後の運用方針

国別資産配分

- ・ポーランドは、底堅い景気回復や雇用環境の改善が継続することが見込まれ、ベンチマークに対してオーバーウエイトを維持する方針です。
- ・イギリスは、金融引き締めは緩慢なペースとなり、EU離脱を巡る不透明感が継続することが見込まれることなどから、ベンチマークに対してアンダーウエイトとする方針です。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

デュレーション（金利感応度）

- ・ユーロ圏は、景気が改善基調にあることやインフレ率も緩やかながら上昇基調にあるものの、ECBによる金融緩和の継続が見込まれることから、ファンドのデュレーションはベンチマークに対しておおむね中立から長めとする方針です。

為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 5 月 9 日～2017年11月 6 日)

項 目	第113期～第115期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(23)	(0.350)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.188)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.026	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.023)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	40	0.591	
作成期中の平均基準価額は、6,661円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年 5 月 9 日～2017年11月 6 日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第113期～第115期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 14,702	千円 32,632	千口 75,843	千円 169,296

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月9日～2017年11月6日)

利害関係人との取引状況

<ユーロ・ソブリン・オープン>

該当事項はございません。

<ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド>

区 分	第113期～第115期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 1,541	百万円 340	% 22.1	百万円 1,539	百万円 342	% 22.2

平均保有割合 98.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年11月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第112期末	第115期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 759,632	千口 698,491	千円 1,606,810

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年11月6日現在)

項 目	第115期末	
	評 価 額	比 率
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 1,606,810	% 98.6
コール・ローン等、その他	22,358	1.4
投資信託財産総額	1,629,168	100.0

(注) ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,623,679千円）の投資信託財産総額（1,632,769千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=114.38円	1 ユーロ=132.73円	1 イギリスポンド=149.47円	1 スウェーデンクローネ=13.56円
1 ボーランドズロチ=31.27円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第113期末	第114期末	第115期末
	2017年7月5日現在	2017年9月5日現在	2017年11月6日現在
	円	円	円
(A) 資産	1,634,544,213	1,647,061,128	1,629,168,720
コール・ローン等	20,093,590	20,157,279	19,804,900
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	1,614,405,172	1,625,300,977	1,606,810,789
未収入金	45,451	1,602,872	2,553,031
(B) 負債	15,270,920	16,869,174	17,524,959
未払収益分配金	12,324,114	12,221,501	11,966,924
未払解約金	—	1,488,987	2,380,641
未払信託報酬	2,935,609	3,146,684	3,165,322
未払利息	35	35	35
その他未払費用	11,162	11,967	12,037
(C) 純資産総額(A-B)	1,619,273,293	1,630,191,954	1,611,643,761
元本	2,464,822,827	2,444,300,267	2,393,384,988
次期繰越損益金	△ 845,549,534	△ 814,108,313	△ 781,741,227
(D) 受益権総口数	2,464,822,827口	2,444,300,267口	2,393,384,988口
1万円当たり基準価額(C/D)	6,570円	6,669円	6,734円

○損益の状況

項 目	第113期	第114期	第115期
	2017年5月9日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年9月5日	2017年9月6日～ 2017年11月6日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 635	△ 693	△ 690
支払利息	△ 635	△ 693	△ 690
(B) 有価証券売買損益	45,112,979	39,728,207	30,449,107
売買益	45,739,723	40,020,621	31,108,228
売買損	△ 626,744	△ 292,414	△ 659,121
(C) 信託報酬等	△ 2,946,771	△ 3,158,651	△ 3,177,359
(D) 当期損益金 (A + B + C)	42,165,573	36,568,863	27,271,058
(E) 前期繰越損益金	△197,496,796	△165,513,276	△137,552,506
(F) 追加信託差損益金	△677,894,197	△672,942,399	△659,492,855
(配当等相当額)	(83,839,026)	(83,927,766)	(82,911,425)
(売買損益相当額)	(△761,733,223)	(△756,870,165)	(△742,404,280)
(G) 計 (D + E + F)	△833,225,420	△801,886,812	△769,774,303
(H) 収益分配金	△ 12,324,114	△ 12,221,501	△ 11,966,924
次期繰越損益金 (G + H)	△845,549,534	△814,108,313	△781,741,227
追加信託差損益金	△677,894,197	△672,942,399	△659,492,855
(配当等相当額)	(83,850,296)	(83,939,325)	(82,921,976)
(売買損益相当額)	(△761,744,493)	(△756,881,724)	(△742,414,831)
分配準備積立金	187,649,620	179,202,847	168,640,687
繰越損益金	△355,304,957	△320,368,761	△290,889,059

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首 (前作成期末) 元本額 2,530,550,861円
 作成期中追加設定元本額 31,279,506円
 作成期中一部解約元本額 168,445,379円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6734円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は781,741,227円です。

③分配金の計算過程

項 目	2017年5月9日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年9月5日	2017年9月6日～ 2017年11月6日
費用控除後の配当等収益額	6,158,556円	6,059,411円	5,753,034円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円
収益調整金額	83,850,296円	83,939,325円	82,921,976円
分配準備積立金額	193,815,178円	185,364,937円	174,854,577円
当ファンドの分配対象収益額	283,824,030円	275,363,673円	263,529,587円
1万口当たり収益分配対象額	1,151円	1,126円	1,101円
1万口当たり分配金額	50円	50円	50円
収益分配金金額	12,324,114円	12,221,501円	11,966,924円

○分配金のお知らせ

	第113期	第114期	第115期
1万円当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

《第165期》決算日2017年6月5日 《第168期》決算日2017年9月5日
 《第166期》決算日2017年7月5日 《第169期》決算日2017年10月5日
 《第167期》決算日2017年8月7日 《第170期》決算日2017年11月6日

[計算期間：2017年5月9日～2017年11月6日]

「ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド」は、11月6日に第170期の決算を行いました。
 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第165期～第170期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 価額	期騰落 中率	シティ欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債組入比率	債券 先物比率	純資 産額
			期騰落 中率	期騰落 中率			
	円	%		%	%	%	百万円
141期(2015年6月5日)	23,256	1.8	672.18	2.7	97.1	—	2,259
142期(2015年7月6日)	22,501	△3.2	650.83	△3.2	97.4	—	2,141
143期(2015年8月5日)	23,070	2.5	664.86	2.2	96.8	—	2,165
144期(2015年9月7日)	22,384	△3.0	642.79	△3.3	96.8	—	2,062
145期(2015年10月5日)	22,877	2.2	658.40	2.4	97.0	—	2,102
146期(2015年11月5日)	22,491	△1.7	648.93	△1.4	96.6	—	2,041
147期(2015年12月7日)	22,739	1.1	655.74	1.0	96.7	—	2,038
148期(2016年1月5日)	21,963	△3.4	631.48	△3.7	97.7	—	1,932
149期(2016年2月5日)	22,579	2.8	647.81	2.6	96.3	—	1,985
150期(2016年3月7日)	21,676	△4.0	621.70	△4.0	97.1	—	1,884
151期(2016年4月5日)	22,038	1.7	633.93	2.0	97.0	—	1,916
152期(2016年5月6日)	21,298	△3.4	609.72	△3.8	97.7	—	1,831
153期(2016年6月6日)	21,291	△0.0	610.30	0.1	97.5	—	1,825
154期(2016年7月5日)	20,250	△4.9	584.22	△4.3	97.4	—	1,707
155期(2016年8月5日)	20,136	△0.6	579.49	△0.8	97.3	—	1,700
156期(2016年9月5日)	20,747	3.0	597.34	3.1	97.2	—	1,730
157期(2016年10月5日)	20,456	△1.4	585.95	△1.9	96.5	—	1,698
158期(2016年11月7日)	20,076	△1.9	571.88	△2.4	97.0	—	1,631
159期(2016年12月5日)	20,783	3.5	599.99	4.9	96.6	—	1,692
160期(2017年1月5日)	21,142	1.7	607.19	1.2	97.3	—	1,686
161期(2017年2月6日)	20,665	△2.3	590.63	△2.7	97.1	—	1,646
162期(2017年3月6日)	20,766	0.5	594.55	0.7	96.6	—	1,628
163期(2017年4月5日)	20,511	△1.2	583.39	△1.9	97.5	—	1,605
164期(2017年5月8日)	21,416	4.4	612.50	5.0	97.7	—	1,647
165期(2017年6月5日)	21,671	1.2	617.16	0.8	98.2	—	1,633
166期(2017年7月5日)	22,026	1.6	631.96	2.4	97.9	—	1,635
167期(2017年8月7日)	22,475	2.0	643.31	1.8	97.8	—	1,656
168期(2017年9月5日)	22,571	0.4	645.17	0.3	97.9	—	1,646
169期(2017年10月5日)	22,806	1.0	653.09	1.2	97.7	—	1,667
170期(2017年11月6日)	23,004	0.9	661.53	1.3	97.2	—	1,628

(注) シティ欧州世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする欧州主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		シテイ欧州世界国債 インデックス (円ベース)	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第165期	(期 首) 2017年5月8日	円 21,416	% —	612.50	% —	% 97.7	% —
	5月末	21,581	0.8	616.27	0.6	97.8	—
	(期 末) 2017年6月5日	21,671	1.2	617.16	0.8	98.2	—
第166期	(期 首) 2017年6月5日	21,671	—	617.16	—	98.2	—
	6月末	22,005	1.5	633.41	2.6	97.2	—
	(期 末) 2017年7月5日	22,026	1.6	631.96	2.4	97.9	—
第167期	(期 首) 2017年7月5日	22,026	—	631.96	—	97.9	—
	7月末	22,234	0.9	640.43	1.3	97.8	—
	(期 末) 2017年8月7日	22,475	2.0	643.31	1.8	97.8	—
第168期	(期 首) 2017年8月7日	22,475	—	643.31	—	97.8	—
	8月末	22,747	1.2	649.36	0.9	97.2	—
	(期 末) 2017年9月5日	22,571	0.4	645.17	0.3	97.9	—
第169期	(期 首) 2017年9月5日	22,571	—	645.17	—	97.9	—
	9月末	22,815	1.1	655.49	1.6	97.8	—
	(期 末) 2017年10月5日	22,806	1.0	653.09	1.2	97.7	—
第170期	(期 首) 2017年10月5日	22,806	—	653.09	—	97.7	—
	10月末	22,816	0.0	655.75	0.4	97.5	—
	(期 末) 2017年11月6日	23,004	0.9	661.53	1.3	97.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

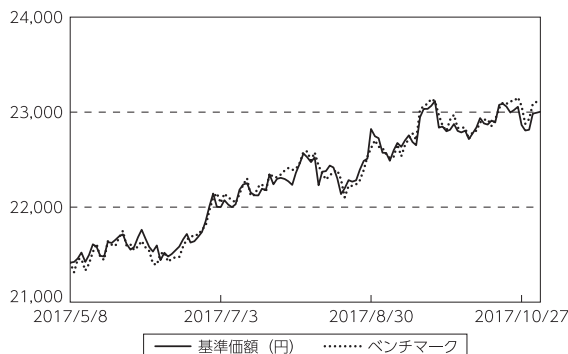
◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.4%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(8.0%)を0.6%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎欧州債券市況

- ・ドイツ10年国債利回りは、北朝鮮情勢への懸念が一時高まったことや2017年10月に開催された欧州中央銀行（ECB）理事会にて、2018年1月からの資産購入のペース縮小が決定されたものの、現行の超低金利政策を2019年の相当期間まで維持する内容が示唆されたことなどを受け、利回りは低下しました。
- ・イギリス10年国債利回りは、インフレ率の高まりなどを受け、イギリス中央銀行（BOE）による利上げ観測の高まりなどから、利回りは上昇しました。

◎為替市況

- ・ユーロは、世界的な景気回復期待や欧州の政治的な安定への期待などを背景に、円に対して上昇しました。
- ・英ポンドは、欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感などから一時下落したものの、世界的な景気回復期待やBOEによる利上げ観測の高まりなどから、円に対して上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・EU加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

◎国別資産配分

- ・ポーランドは、中央銀行が金融緩和姿勢を継続しているものの、底堅い景気回復や上昇基調にあるインフレ率などを背景に、当作成期末時点ではベンチマークに対してオーバーウエイトとしました。
- ・イギリスは、EU離脱を巡る不透明感が今後高まってくることが見込まれることなどから、当作成期末時点ではベンチマークに対してアンダーウエイトとしました。

◎デュレーション（金利感応度）

- ・ユーロ圏の景気は堅調に推移しているものの、ECBによる金融緩和政策の継続が見込まれることから、ファンドのデュレーションはベンチマークに対して小幅に長めとしています。

※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

◎為替取引

- ・作成期の初めは、2.1%程度のスウェーデンクローネ買い、1.1%程度の英ポンド売り、1.1%程度のポーランドズロチ売りとしました。

- ・作成期末は、景気が底堅く推移していることなどから6.9%程度のユーロ及び0.6%程度のスウェーデンクローネ買い、EU離脱を巡る不透明感などから5.0%程度の英ポンド売り、ベンチマークに対するオーバーウエイト幅の調整のために2.5%程度のポーランドズロチ売りとなりました。

◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。
- ・前記の運用を行った結果、保有しているイギリスなどの長期の債券の利回りが上昇したことなどがマイナスに作用した一方、ユーロや英ポンドが円に対して上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・基準価額は当作成期首に比べ、7.4%の上昇となり、ベンチマークの騰落率（8.0%）を0.6%下回りました。
- ・英ポンドをベンチマークに対して少なめとしていたことなどがプラスに寄与した一方、スウェーデンクローネが下落する局面でベンチマークに対して多めとしていたことなどがマイナスに作用した結果、ベンチマークに対してアンダーパフォーマンスしました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ユーロ圏では、ECBによる金融緩和の継続が見込まれるものの、景気が底堅く推移していることやイタリアなど欧州を巡る不透明感が後退していることなどから、ユーロは円を含む主要国通貨に対して、底堅く推移するとみています。

- ・イギリスでは、高水準のインフレ率などを背景に政策金利の引き上げが実施されたものの、緩慢な景気回復などを背景に金融引き締めは緩やかなペースになることが見込まれることに加え、EU離脱を巡る不透明感などから、英ポンドは円を除く主要国通貨に対して、弱含む展開になると予想しています。

◎今後の運用方針

国別資産配分

- ・ポーランドは、底堅い景気回復や雇用環境の改善が継続することが見込まれ、ベンチマークに対してオーバーウエイトを維持する方針です。
- ・イギリスは、金融引き締めは緩慢なペースとなり、EU離脱を巡る不透明感が継続することが見込まれることなどから、ベンチマークに対してアンダーウエイトとする方針です。
- ・ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

デュレーション

- ・ユーロ圏は、景気が改善基調にあることやインフレ率も緩やかながら上昇基調にあるものの、ECBによる金融緩和の継続が見込まれることから、ファンドのデュレーションはベンチマークに対しておおむね中立から長めとする方針です。

為替取引

- ・引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

信用格付

- ・引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 5 月 9 日～2017年11月 6 日)

項 目	第165期～第170期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保 管 費 用)	5	0.023	
(そ の 他)	(5)	(0.023)	
(合 計)	(0)	(0.001)	
合 計	5	0.023	
作成期中の平均基準価額は、22,366円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2017年 5 月 9 日～2017年11月 6 日)

公 社 債

			第165期～第170期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	2,277	1,991
	フランス	国債証券	1,952	2,426
	オランダ	国債証券	—	114
	ベルギー	国債証券	—	301
	アイルランド	国債証券	424	68
	イギリス	社債券	—	208
	国際機関	特殊債券	—	236
			千イギリスポンド	千イギリスポンド
		イギリス	国債証券	1,682
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ
		—	4,320	
	デンマーク	国債証券	千デンマーククローネ	千デンマーククローネ
		—	3,375	
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ
		3,049	1,059	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月9日～2017年11月6日)

利害関係人との取引状況

区 分	第165期～第170期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 1,541	百万円 340	% 22.1	百万円 1,539	百万円 342	% 22.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年11月6日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第170期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	1,020	1,159	153,866	9.4	—	3.1	3.5	2.8
フランス	3,295	3,589	476,482	29.3	—	13.4	15.0	0.9
オランダ	700	818	108,639	6.7	—	—	6.7	—
ベルギー	870	1,038	137,838	8.5	—	—	8.5	—
アイルランド	740	812	107,870	6.6	—	6.6	—	—
国際機関	1,300	1,512	200,803	12.3	—	12.3	—	—
イギリス	200	208	27,620	1.7	—	—	—	1.7
イギリス	千イギリスポンド 1,365	千イギリスポンド 1,683	251,645	15.5	—	15.5	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 500	千スウェーデンクローネ 577	7,827	0.5	—	—	0.5	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 3,050	千ポーランドズロチ 3,511	109,806	6.7	—	5.7	1.0	—
合 計	—	—	1,582,400	97.2	—	56.6	35.1	5.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第170期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	0 SCHATS 190315	—	340	343	45,629	2019/3/15
		2.25 BUND 210904	2.25	390	432	57,381	2021/9/4
		2.5 BUND 460815	2.5	290	383	50,855	2046/8/15
フランス	国債証券	0 O.A.T 210525	—	380	385	51,221	2021/5/25
		0 O.A.T 220525	—	770	779	103,463	2022/5/25
		1 O.A.T 181125	1.0	110	111	14,854	2018/11/25
		1.75 O.A.T 390625	1.75	570	604	80,199	2039/6/25
		2 O.A.T 480525	2.0	220	233	31,037	2048/5/25
		2.25 O.A.T 221025	2.25	320	359	47,700	2022/10/25
		3.25 O.A.T 450525	3.25	325	441	58,565	2045/5/25
	普通社債券	1.375 GDF SUEZ 200519	1.375	300	311	41,395	2020/5/19
	4.25 BPCE SA 230206	4.25	300	361	48,045	2023/2/6	
オランダ	国債証券	3.25 NETH GOVT 210715	3.25	100	114	15,138	2021/7/15
	普通社債券	4.125 ABN AMRO BA 220328	4.125	600	704	93,500	2022/3/28
ベルギー	国債証券	4 BEL GOVT 220328	4.0	870	1,038	137,838	2022/3/28
アイルランド	国債証券	1.7 IRISH GOVT 370515	1.7	300	308	40,994	2037/5/15
		5.4 IRISH GOVT 250313	5.4	40	54	7,247	2025/3/13
	普通社債券	2.625 GE CAPITAL 230315	2.625	400	449	59,629	2023/3/15
国際機関	特殊債券	2.125 EFSF 240219	2.125	600	676	89,830	2024/2/19
		2.5 EUROPEAN U 271104	2.5	700	836	110,973	2027/11/4
イギリス	普通社債券	3.875 HSBC BANK 181024	3.875	200	208	27,620	2018/10/24
小計						1,213,121	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	1.25 GILT 270722	1.25	520	517	77,338	2027/7/22
		1.5 GILT 470722	1.5	140	128	19,217	2047/7/22
		4.25 GILT 401207	4.25	140	202	30,259	2040/12/7
		4.25 GILT 461207	4.25	65	99	14,874	2046/12/7
		4.5 GILT 421207	4.5	200	304	45,562	2042/12/7
	特殊債券	6 EIB 281207	6.0	300	430	64,392	2028/12/7
小計						251,645	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	特殊債券	5 EIB 201201	5.0	500	577	7,827	2020/12/1
小計						7,827	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	2.5 POLAND 270725	2.5	500	460	14,414	2027/7/25
		5.75 POLAND 290425	5.75	2,050	2,516	78,699	2029/4/25
	特殊債券	4.25 EIB 221025	4.25	500	533	16,691	2022/10/25
小計						109,806	
合計						1,582,400	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年11月6日現在)

項 目	第170期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,582,400	% 96.9
コール・ローン等、その他	50,369	3.1
投資信託財産総額	1,632,769	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,623,679千円) の投資信託財産総額 (1,632,769千円) に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=114.38円	1 ユーロ=132.73円	1 イギリスポンド=149.47円	1 スウェーデンクローネ=13.56円
1 ポーランドズロチ=31.27円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第165期末	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末
	2017年6月5日現在	2017年7月5日現在	2017年8月7日現在	2017年9月5日現在	2017年10月5日現在	2017年11月6日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,832,418,260	1,941,516,583	1,937,064,564	2,072,112,353	2,014,092,063	1,885,041,914
コール・ローン等	12,978,646	20,368,676	18,783,301	14,585,403	21,738,252	11,657,151
公社債(評価額)	1,604,859,587	1,601,006,032	1,619,541,802	1,611,625,390	1,629,058,963	1,582,400,407
未収入金	195,617,679	304,876,766	280,978,578	427,601,986	342,205,637	271,166,703
未収利息	16,949,947	12,926,251	14,605,457	16,947,346	19,138,692	17,977,149
前払費用	1,999,471	2,325,525	3,141,881	1,338,687	1,936,754	1,826,724
差入委託証拠金	12,930	13,333	13,545	13,541	13,765	13,780
(B) 負債	198,704,150	305,967,564	280,438,909	425,156,584	346,441,806	256,350,423
前受収益	11,619	—	—	—	—	—
未払金	168,583,232	305,920,836	280,217,566	423,552,006	346,324,120	253,794,110
未払解約金	30,109,288	46,711	221,328	1,604,558	117,661	2,556,297
未払利息	11	17	15	20	25	16
(C) 純資産総額(A-B)	1,633,714,110	1,635,549,019	1,656,625,655	1,646,955,769	1,667,650,257	1,628,691,491
元本	753,879,778	742,561,566	737,095,926	729,675,369	731,244,597	708,015,855
次期繰越損益金	879,834,332	892,987,453	919,529,729	917,280,400	936,405,660	920,675,636
(D) 受益権総口数	753,879,778口	742,561,566口	737,095,926口	729,675,369口	731,244,597口	708,015,855口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,671円	22,026円	22,475円	22,571円	22,806円	23,004円

○損益の状況

項 目	第165期	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期
	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月5日	2017年7月6日～ 2017年8月7日	2017年8月8日～ 2017年9月5日	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	3,258,695	3,488,328	3,546,242	3,125,511	3,237,276	3,340,192
受取利息	3,267,358	3,488,984	3,546,852	3,125,914	3,238,115	3,340,892
支払利息	△ 8,663	△ 656	△ 610	△ 403	△ 839	△ 700
(B) 有価証券売買損益	16,523,576	23,060,259	29,809,558	4,177,618	14,019,676	10,932,531
売買益	27,930,990	54,114,714	41,518,548	10,791,072	41,303,592	23,692,084
売買損	△ 11,407,414	△ 31,054,455	△ 11,708,990	△ 6,613,454	△ 27,283,916	△ 12,759,553
(C) 保管費用等	△ 57,042	△ 52,688	△ 50,723	△ 116,089	△ 70,097	△ 42,099
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,725,229	26,495,899	33,305,077	7,187,040	17,186,855	14,230,624
(E) 前期繰越損益金	878,292,661	879,834,332	892,987,453	919,529,729	917,280,400	936,405,660
(F) 追加信託差損益金	3,679,967	2,156,956	3,667,319	2,440,526	3,674,020	2,311,280
(G) 解約差損益金	△ 21,863,525	△ 15,499,734	△ 10,430,120	△ 11,876,895	△ 1,735,615	△ 32,271,928
(H) 計(D+E+F+G)	879,834,332	892,987,453	919,529,729	917,280,400	936,405,660	920,675,636
次期繰越損益金(H)	879,834,332	892,987,453	919,529,729	917,280,400	936,405,660	920,675,636

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 769,337,710円
 作成期中追加設定元本額 14,702,544円
 作成期中一部解約元本額 76,024,399円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,3004円です。
- ②作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
 ユーロ・ソブリン・オープン 698,491,910円
 ユーロ・ソブリン・オープン V A（適格機関投資家専用） 9,523,945円
 合計 708,015,855円